



平成 29 年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 12月号

# みやがや

＜学校教育目標＞

響き合う豊かな学びの中で自分を見つめ互いに思いやる子を育てます

【知】 学び合う楽しさを知り、問題解決に向け主体的に取り組む子を育てます。【学び合い】

【徳】 社会や学校のきまりを守り、やさしく思いやりのある子を育てます。【思い合い】

【体】 お互いの生命と体を大切に、生涯を通してよりよく健康な生活ができる子を育てます。【気づき合い】

【公・開】さまざまな人々と豊かなかかわり合いを大切にしながら、わたしたちのまちに誇りをもって生活する子を育てます。

【かかわり合い】

## みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認める心～

学校長 奈良輪 孝雄

国際連合は、世界人権宣言が採択された日の12月10日を「人権デー」と定めています。法務省では、平成29年度活動重点目標を『みんなで築こう人権の世紀』～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～とし、啓発活動を展開しています。宮谷小学校でも、12月1日～8日を校内人権週間として様々な教育活動を行っていきます。本年度のねらいは、「思いやりのある行動についての話し合いやペアのクラスと交換して実際に取り組むことを通して、自らの生活を振り返り、友達とより良いかかわりをもととする子どもを育てる」としました。各学級で「思いやりのある行動」について考え画用紙に書きます。11月30日にその画用紙をペアクラスに届け画用紙を交換します。そして、12月4日に行われる「宮谷小学校子ども人権会議」で、「学校全体でもっと思いやりのある学校にするためにどうしたらよいか」について話し合います。子どもたちが考えの書かれた画用紙は、12月12日以降に職員室前へ掲示します。これからの未来を創る子どもたちが、どのようなことを考えるのかが楽しみです。

宮谷小学校では、人権教育を推進しています。10月の学校だよりでは「自分にはよいところがありますか」というタイトルで自己有用感の重要性を、11月は「いじめは絶対に許さない」というタイトルで宮谷小学校の職員全体の思いを伝えました。

私は、校長として月曜日に朝会で子どもたちへ思いを伝える時間があります。話の内容の留意点は、「『□□してはいけない。』という戒めではなく、『○○しましょう。』『こんな善い行いがありました。』』というようなプラス面」を話すようにしていることです。昨年は同じ時期の朝会では「宮谷小学校の皆さんは、思いやりの言動であふれています。」と称賛をしたのですが、今年は「いじめは絶対に許さない」と戒めの話をしました。子どもたちに対して、強いメッセージを送りたかったのです。

宮谷小では、いじめ問題等の取組を徹底し、全ての子どもたちが、「わたしは大切な人間なんだ」と思うことができる教育活動を推進し、「思いやり」のあふれた学校にしていきます。今月もよろしくお願ひ申し上げます

世界人権宣言 谷川俊太郎 訳

第1条 みんな仲間だ

わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。一人ひとりがかけがえのない人間であり、その値打も同じです。だからたがいによく考え、助け合わねばなりません。

